

## TKG Adventures 主催のプログラム及び研修における感染防止対策

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、TKG Adventures では行政機関の指針を踏まえた本社の方針に基づき、以下のとおり感染防止対策を策定いたしました。今後の状況に応じて、内容の改訂を行います。

受講団体様におかれましては、ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

### 1. 受講にあたってのお願い

---

- ・当日、参加者及び受講者の検温および別紙「TKG Adventures 活動参加同意書」に含まれる参加者及び受講者の健康チェックを行います。
- ・参加者及び受講者が発熱、咳などの症状がある場合は体調を最優先し、ご参加・受講を控えていただきますようお願いいたします。
- ・参加者及び受講者はマスク着用を原則とします。ただし、屋外での活動においてのみ、熱中症対策のため、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外すことも可能とします。
- ・参加者及び受講者においてはマスク、ティッシュ、タオル、ハンカチなど個人で使用するものは各自で持参してください。
- ・屋外での活動を基本としますが、室内で活動する場合には、状況に応じて時間を短縮する場合があります。
- ・ドア・窓の開放、送風または冷房運転による換気をいたしますので、ご協力をお願いいたします。
- ・換気により室内の気温が変化する可能性がありますので、温度調節が可能な服装(動きやすい服装)でご参加ください。
- ・手が触れる箇所を中心に、使用施設内や研修会場内の定期的なアルコール消毒をいたしますので、ご協力をお願いいたします。
- ・参加者及び受講者の定期的な石鹸手洗い、うがい、手指アルコール消毒のご協力をお願いいたします。
- ・研修実施前後に、研修に必要な用具（プロッキーなどの筆記用具等）のアルコール消毒を行います。
- ・原則として指定されたトイレをご利用ください。
- ・ロッカー・ルームの三密(密閉・密集・密接)を回避するため、事前に可能な限り着替えを済ませて参加していただくようお願いいたします。また、事後の着替え等でロッカー・ルームを利用する場合には、当方で人数調整をさせていただきます。
- ・昼食は、指定された場所をお願いいたします。また、昼食時等の飲食の際には、会話はお控えください。
- ・休憩時等においても三密(密閉・密集・密接)を回避するようお願いいたします。
- ・感染防止の観点から、活動場所におけるゴミは各自で持ち帰っていただくようお願いいたします。
- ・熱中症対策として、各自でペットボトルの飲み物やマイボトルを持参していただくよう、お願いいたします。
- ・受講団体で飲み物を提供する場合には、使い捨ての紙コップなどを参加者及び受講者が共有しないように配慮をお願いいたします。
- ・状況によっては、研修を中止または延期する場合があります。
- ・万が一、研修後に感染(感染の疑いがある)状況が発生した場合には、関連各所及び本社にも速やかに連絡をいただくよう、お願いいたします。

## 2. 本社ファシリテーターの感染防止対策

---

- ・事前および当日の本社ファシリテーターの健康状態について、本社所定のチェック(検温含む)を行います。
- ・活動及び研修中、ファシリテーターはマスク着用を原則とします。ただし、屋外での活動においてはマスクをはずすこともあります(屋外のみ)。
- ・活動、研修中および活動、研修前後にファシリテーターの定期的な石鹸手洗い、うがい、手指アルコール消毒を実施します。

## 3. プログラム実施にあたっての感染防止対策

---

- ・ファシリテーターは、活動、研修ニーズに対しての支援を行うと同時に安全(健康管理、ソーシャルディスタンス、手洗い・消毒などの徹底等)を優先し、プログラムを実施します。
- ・天候などにより室内で行われる場合を考慮して、ファシリテーターは活動人数、内容など安全に活動できる案を提示します。
- ・企業等の団体対象の研修の場合には、ファシリテーターは受講団体の担当者と、感染防止対策を含め、安心・安全なプログラムが実施できるように、電話及びオンライン会議等で打ち合わせが行えるように工夫します。
- ・事前もしくは当日の活動前に、参加者及び受講者に健康チェックを行っていただきますが、プログラム中に参加者が不調を訴えた場合には、その当事者には活動を休止していただきます。その際の対処法については、受講団体と事前に打ち合わせを行っていただきます。
- ・プログラムは基本的に屋外で行い、ソーシャルディスタンスを確保したうえで実施します。
- ・プログラム当日は、状況に応じて安全に実施されるよう、内容を一部変更する場合があります。
- ・屋内・外の活動場所における感染予防対策を、ファシリテーターが事前に確認し、リスクマネジメントを徹底したプログラムを提示します。
- ・ファシリテーターは、近距離・真正面での会話及び屋内における大声での会話等を控えたプログラムを実施します。
- ・プログラム中に少人数でグループに分かれて活動することもあります。可能な限りソーシャルディスタンスを確保します。
- ・活動のグループやメンバーを決定する際には、事前に受講団体にご相談させていただきます。また、研修後もどの参加者がどのグループに所属していたかを確認できるよう、ご協力をお願いいたします。

## 4. プログラムにおけるガイドライン

< 野外活動における基本項目 >

実施人数：基本的に **プログラムの上限は20名まで**とする。

### (1) 海プログラム

活動種別	感染防止対策
SUP	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスを確保しながら活動を実施する。</li> <li>・可能な限り機材の共有を少なくし、共有が必要な場面ではアルコール消毒、グローブ等の着用などを行う。</li> <li>・移動、準備、片付けの際にはマスクの着用を基本とする。ただし熱中症対策のため、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外すことも可能とする。</li> <li>・使用する用具、文具等は活動前後に消毒、洗浄を行う。</li> </ul>
シーカヤック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスを確保しながら活動を実施する。</li> <li>・可能な限り機材の共有を少なくし、共有が必要な場面ではアルコール消毒、グローブ等の着用などを行う。</li> <li>・移動、準備、片付けの際にはマスクの着用を基本とする。ただし熱中症対策のため、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外すことも可能とする。</li> <li>・使用する用具、文具等は活動前後に消毒、洗浄を行う。</li> </ul>
シュノーケリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスを確保しながら活動を実施する。</li> <li>・自身が使う機材は地震で管理をし、貸し借りを行わないようにする。</li> <li>・移動、準備、片付けの際にはマスクの着用を基本とする。ただし熱中症対策のため、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外すことも可能とする。</li> <li>・使用する用具、文具等は活動前後に消毒、洗浄を行う。</li> </ul>

### (2) 山プログラム

ボルダリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスを確保しながら活動を実施する。</li> <li>・可能な限り機材の共有を少なくし、共有が必要な場面ではアルコール消毒を行う。</li> <li>・共通の機材を使う際には、使用前後でアルコール消毒を行う。</li> <li>・移動、準備、活動、片付けの際にはマスクの着用を基本とする。ただし熱中症対策のため、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外すことも可能とする。</li> <li>・使用する用具、文具等は活動前後に消毒、洗浄を行う。</li> </ul>
クライミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスを確保しながら活動を実施する。</li> <li>・可能な限り機材の共有を少なくし、共有が必要な場面ではアルコール消毒、を行う。</li> <li>・共通の機材を使う際には、使用前後でアルコール消毒を行う。</li> <li>・移動、準備、活動、片付けの際にはマスクの着用を基本とする。ただし熱中症対策のため、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外すことも可能とする。</li> <li>・使用する用具、文具等は活動前後に消毒、洗浄を行う。</li> </ul>
ピクニック トレッキング 登山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスを確保しながら活動を実施する。</li> <li>・可能な限り機材の共有を少なくし、共有が必要な場面ではアルコール消毒、グローブ等の着用などを行う。</li> <li>・移動、準備、活動、片付けの際にはマスクの着用を基本とする。ただし熱中症対策のため、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外すことも可能とする。</li> <li>・使用する用具、文具等は活動前後に消毒、洗浄を行う。</li> </ul>
サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスを確保しながら活動を実施する。</li> <li>・自身が使う機材は地震で管理をし、貸し借りを行わないようにする。</li> <li>・移動、準備、活動、片付けの際にはマスクの着用を基本とする。ただし熱中症対策のため、ソーシャルディスタンスを確保したうえでマスクを外すことも可能とする。</li> <li>・使用する用具、文具等は活動前後に消毒、洗浄を行う。</li> </ul>

### (2) 屋外、室内での Adventure プログラム

活動種別	感染防止対策
------	--------

屋外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスが確保できる場所で活動を実施し、振り返り等の際にはマスクの着用を基本とする。</li> </ul>
室内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティを含む活動をする場合は1グループあたり<b>20名</b>までとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 室内の大きさ及び感染状況によって若干の変動あり</li> </ul> </li> <li>・活動前、活動中は換気を行う(ドア、窓など)。</li> <li>・参加者が触れる可能性のあるドアノブ、窓枠など活動前後に除菌、洗浄を行う。</li> <li>・更衣室はあるが、十分な広さがなく、換気状況も不十分であるため、基本的に使用はしない(事前に着替えて参加してもらおう。雨天時についてやむを得ない場合は<b>1～2名</b>で交代しながら使用する)。</li> <li>・使用する用具、文具等は活動前後に消毒、洗浄を行う。グループ以外の共有はしない。</li> </ul>